

平成29年度愛知県合同輸血療法委員会議事録

I 日 時

平成30年2月6日（火） 午後2時から午後3時40分まで

II 場 所

愛知県庁本庁舎6階 正庁

III 出席委員（9名）（順不同、敬称略） （注）◎：議長

大西 一功、赤塚 美樹、小澤 幸泰、笠井 雅信、◎加藤 栄史、河野 彰夫、近藤 勝、
山本 一仁、李 政樹

IV 代理出席者（1名）（敬称略） カッコ内は委員氏名

加藤 智則（澤 正史）

V 欠席委員（3名）

齋藤 俊樹、杉浦 勇、松下 正

<議題>

1 平成29年度輸血医療におけるインシデント・アクシデントに関する調査結果について

平成29年4月から9月までの間に、104医療機関を対象として収集した輸血医療におけるインシデント・アクシデントの取りまとめ結果について、意見交換をした。

また、以下の事項が承認された。

- ① 本調査結果について、アンケートに回答した医療機関へフィードバックするとともに、愛知県合同輸血療法委員会ウェブページへ掲載する等して、インシデント・アクシデントの発生防止について周知する。
- ② 平成30年3月に開催される輸血療法連絡会（東海地区）（事務局：東海北陸ブロック血液センター）において、本調査結果を報告する。
- ③ 本調査結果について、さらに解析を加えた上で、学会発表又は論文投稿を行う。

2 輸血後感染症検査の実施に関するアンケート結果について

東海4県（愛知県、岐阜県、三重県、静岡県）の各合同輸血療法委員会において実施した輸血後感染症検査の実施に関するアンケートについて、東海北陸ブロック血液センターが取りまとめた4県の結果について、意見交換をした。

本調査は、輸血療法連絡会（東海地区）から、4県共通アンケートとして提案され、平成27年度の当委員会において実施することについて承認され、平成28年度の当委員会において本県の取りまとめ結果が報告されたものである。

今日の我が国の輸血用血液製剤の安全性を考えると、輸血前の検体保管はすべきであるが、輸血後の感染症検査を止めることに関して、学会等において議論をしていくことが承認された。

3 血液製剤の適正使用等に関する通知について

「輸血管理体制の整備について」（平成29年10月31日付け29医安第899号 愛知県健康福祉部保健医療局長通知）及び「人血小板濃厚液の使用時の安全確保措置の周知徹底について」（平成29年12月6日付け29医安第978号 愛知県健康福祉部保健医療局長通知）の2つの県から発出した通知について事務局から報告し、意見交換をした。

輸血管理体制が不十分な中小の病院・診療所に対して、県及び合同輸血療法委員会が、引き続きその整備について働きかけていくこと、及びその方策を検討していくことを確認した。

4 その他

県内医療機関での輸血の管理体制及び在宅医療での輸血実施状況等を調査し、本県の輸血医療の現状を把握するとともに、当委員会の活動への要望を調査し、当委員会の今後の活動に資することを目的として、平成30年度にアンケート調査を実施すること、及びその内容について意見交換をした。

以下の事項が承認された。

- ① アンケート調査の対象、方法及び項目等
- ② 平成30年3月末日までにアンケート調査票案を事務局において作成し、各委員の承認を最終的に得た上で、平成30年6月にアンケートを実施する。